

広島空港アクセス（福山・尾道）の実証運行終了後の方向性について

1 要旨・目的

既存空港アクセス路線の維持・強化に向けて、令和7年11月1日から令和8年1月末まで実証運行を実施している、広島空港アクセス「福山路線」及び「尾道路線」の実証運行終了後の方向性について報告する。

2 現状・背景

リムジンバス等の運転手不足が深刻化する中、運行便数の減少等が生じていた福山・尾道の空港アクセス路線について、新たな手法による実証運行を実施していた。

3 概要

（1）実証運行の状況

ア 福山路線

- 広島空港と福山市内（福山駅ほか5か所）を結ぶ新たな空港アクセスとして、乗合タクシーによる定時運行（10～12往復/日）を実施
- 12月の利用者数は278人と前月から約3割増加。12月は例年、11月より利用者数が減少する傾向にあるが、実証運行では利用者が増加した。
- 12月の1便当たりの利用者数は0.4人/便と目標値（2.1人/便）には届いていない。

イ 尾道路線

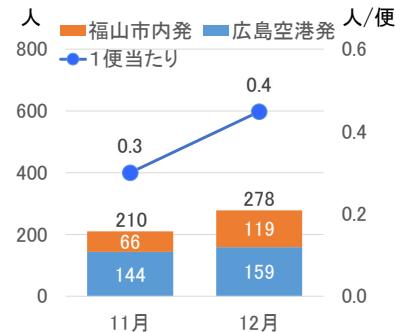
- 広島空港と尾道市内（尾道駅ほか5か所）を結ぶ新たな空港アクセスとして、複数の運行事業者（6社）が、乗合タクシーによる定時運行（6往復/日）を実施
- 12月の利用者数は259人と前月から5%減少したものの、実証運行前の前年同月比では約4倍に増加
- 12月の1便当たりの利用者数は、0.7人/便と目標値（1.7人/便）には届いていない。

（2）実証運行終了後の方向性

ア 福山路線

今後の路線の認知拡大に伴い、利用者数の増加と採算性向上が期待できることから、実証運行が終了する2月以降も、現在の運行方法を基本に、現運行事業者（アサヒタクシー株式会社）が自主運行により継続する予定

【福山路線の利用者数】



【尾道路線の利用者数】



福山路線	実証運行前 (~R7.10)	実証運行中 (R7.11～R8.1)	実証運行後 (R8.2～)
リムジンバス	定時運行 (6往復/日)	定時運行 (6往復/日)	定時運行 (6往復/日)
乗合タクシー	—	定時運行 (10～12往復/日)	定時運行 (10往復/日)

イ 尾道路線

実証運行では、利用者数が増加しているものの、1便当たりの利用者数など採算性に課題があることから、実証運行での効果が認められた増便（ダイヤ）や電話予約サービスは維持しながら、空車運行を抑制するために定時運行からデマンド運行に変更した上で、実証運行が終了する2月以降も、運行事業者が自主運行により継続する予定。運行事業者は大平交通株式会社及びひろでんモビリティサービス株式会社

尾道路線		実証運行前 (～R7. 10)	実証運行中 (R7. 11～R8. 1)	実証運行後 (R8. 2～)
乗 合 タ ク シ ー	運行方法	デマンド運行	定時運行	デマンド運行
	便数（ダイヤ）	4 往復/日	6 往復/日	6 往復/日
	予約方法	WEB	WEB・電話	WEB・電話
	運行事業者	1 社	6 社	2 社